

幹事のひとこと

「発想法」について

副会長 樋熊 紀雄

日常、業務の課題改善に取り組む時どんな手法を用いていますか。課題解決の一つの技法として、KJ法を用いて問題点を抽出し、独創性解決法を探るという方法をご存じかと思います。

私とKJ法の出会いは、1987年、当時の文部省と厚生省共催「第14回医学教育者のためのワークショップ」に参加した時でした。富士山麓の研修所で1週間缶詰の環境の中で、最初に「医学教育の問題点」について、ブレインストーミングの後KJ法を用い、提示されたキーワードを分類・整理、関連付けて図式化し、問題点を抽出し解決法を見出すというものでした。

ご存知KJ法とは東京工業大学、筑波大学教授を歴任された川喜多二郎氏のイニシャルのKとJを取ったもので、氏の著書「発想法」は1967年に初版が出版されています。著者が何故この発想法が必要であったかについて、野外データの探検（情報収集）から観察や記録の分類を経て要約や分析まで進んでも、統合の方法が出来なければ、野外研究という名のトンネルを抜けるには、ほとんど役立たない。【野外の資料の整理】という課題に対して整理する方法は、「データの統合法」であると考えました。

川喜多氏は、分類と分析的手法の後に私の計画が頓挫したのは、分析技術ではなく、実にこの統合技術なのであったと回想しています。

そして更に、川喜多氏は、統合の方法は、いわば探偵小説の手法みたいなので、雑然と異質で、しかも一回しか起こらなかった証拠物件から、それを組み立て物語に統合して、犯人は彼だという所に導く糸を求めなければならない。その意味で、探偵小説と同じである。一口に日本語で「資料をまとめる」という、あいまいで大風呂敷な言葉に執着していた間は、わたしの研究資料はさっぱり【まとまらない】し、はなはだ皮肉な結果に陥るだけであった。要約・分析と統合の両方法を関連的に全部行使したときに、はじめて「まとまる」事ができたと述べています。

これまでの科学的方法では、分類、要約、分析には力を持っているけれども、統合するという問題に対しては、はっきりした方法を何も用意していなかった。相互に比べることの出来ない異質の一組のデータから、いかにして意味のある統合を発見することができるか。また新しい発想をうちあげることができるか。データは単に足し算したり、割り算したりするだけではいけなく、それらが組み合わせられて、いままで気づかなかった新しい意味を見出すための発想をしなければならない。

日常、オズホーン氏のアイデア「ブレインストーミング：独創力を伸ばせ」は、問題解決のために新しい発想、アイデアを作り出すために考えられた方法ですが、ブレインストーミングで吐き出された内容をなんらかの構造あるものに組み立てる。組み立てにあたっていわば統合を見出していくのに使う・・・それが創造性開発『発想法』KJ法と思います。

日常私は、スモールグループ討議を円滑に展開するために、思考をまとめる方法としてKJ法を用いています。その時には、ポストイットではなく文殊カード（3人寄れば文殊の知恵：提唱大阪大学教授 中川米造氏）を使います。この文殊カードは、短時間にキーワードを沢山提案する方法として有効です。試してみてください。

幹事のひとこと

お稽古事

総務・広報部 佐野 正俊

私がヴァイオリンを弾き始めてから70年近くとなる。父が教えてくれたものである。私の父は明治生まれだが、独学でヴァイオリンを弾き始め、新潟医科大学管弦楽団でコンサートマスターを務め、多くのヴァイオリン協奏曲を演奏した。本当に大したものである。

その父に、私が登校する毎朝20分くらい練習させられた。子供のころはいやでしょうがなかったが、仕込まれたおかげで、医学部管弦楽団で合奏の楽しさに目覚め、卒後はネーベル室内合奏協会（現在活動終了）や、現在の古楽トリオ「プロジェクト・リュリ」での活動につながっている。今では私のこの上ない楽しみとなっている。

親が子供に習い事をさせることは今も変わりがないと思う。いやがっても続けさせることは決して悪いことではないと思う。長くお稽古をしていれば、それなりの結果は得られると思っている。

幹事会報告

令和元年度第2回幹事会

総務部長 永井 明彦

日時：令和2年1月31日（金）午後7時 会場：ピア軒

議題：1）会員・会計の状況について

会員数：新潟市内科医会 180名（A：107名、B：65名、C：8名）
臨床内科医会 88名

2）令和2年度総会について

日時：令和2年4月18日（土）午後4時～ 会場：新潟東映ホテル

1. 総会（30分）（1）笹川会長ご挨拶 （2）議事（議長：笹川会長）

①事業報告（岡田学術部長）

②会計報告（細野会計部長）・会計監査報告（中島・木滑監事）

③役員改選について

2. 講演（内科医会連絡事項・30分）

演題：「審査基準の差異解消への取り組み（その11）」 講師：成澤 林太郎先生

3. 特別講演（60分、座長：笹川 力会長）

演題：「(演題未定)」 講師：菊地 利明 先生（新潟大学呼吸器・感染症内科学教授）

3）平成31年度～令和2年度の学術講演会（予定を含む）について

4）「いがた内科医会だより」について

5）会員逝去に対する香典・生花について

6）その他

医会からの連絡

日本内科学会が実施する新専門医試験

学術部長 岡田 潔

2018年に1年遅れでスタートした新専門医制度の中で、新内科専門医が2021年に誕生し、従来の内科認定医制度は2020年度で終了します。これを受け、日本内科学会では2021年度から新専門医制度に則った内科専門医試験と総合内科専門医試験の二つの専門医試験が、それぞれ実施されます。

2018年に日本内科学会で総合内科専門医が内科のサブスペシャリティ領域資格として残置されることが決定し、日本専門医機構より内諾を得ています。臓器横断的・俯瞰的な高い診療能力を有する総合内科専門医は、超高齢社会に大いに貢献すると期待されるのがその理由です。

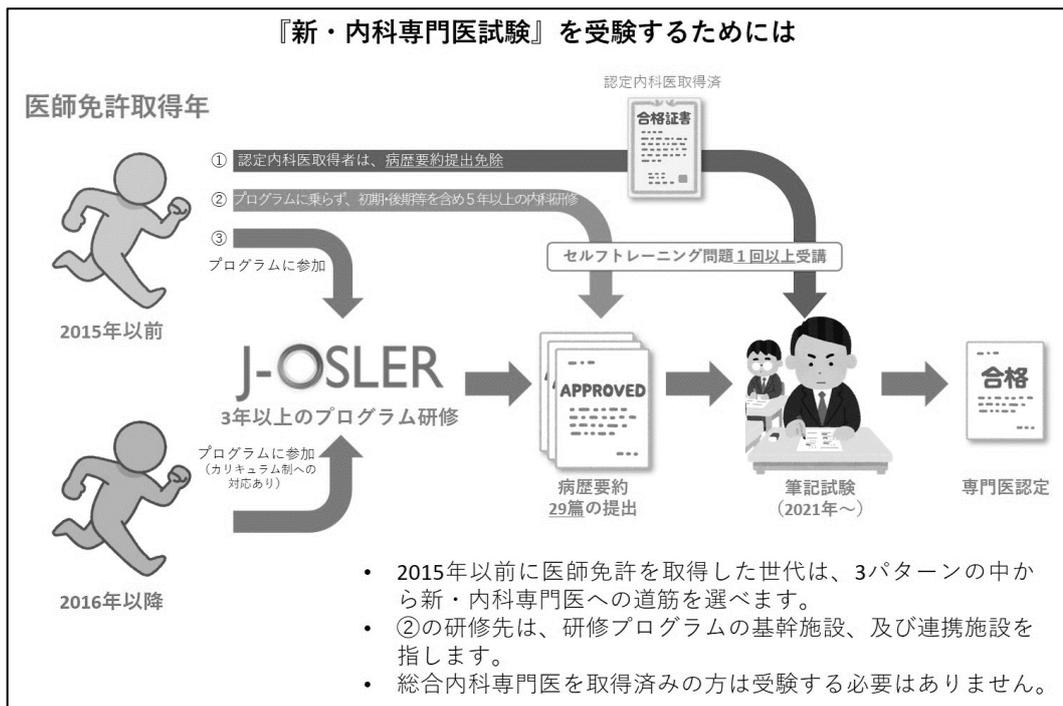
また、総合内科専門医は内科のサブスペシャリティ領域として新内科専門医の2階部分となりますが、同じく新内科専門医の2階部分となる他のサブスペ領域の専門医との同時取得については、日本専門医

機構からの指針がまだ出ていません。現時点ではどちらかを優先して取得するのがよいと思います。ただ、今後も現在の制度と大きく変わることはないと思われます。

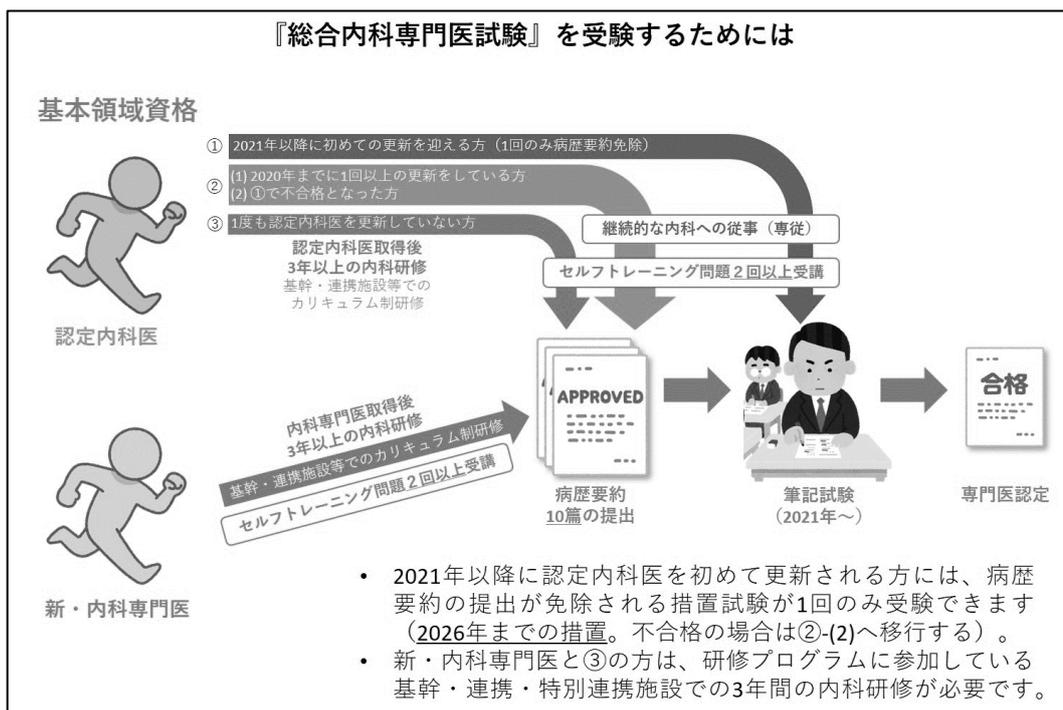
【2021年以降 専門医制度（新制度）の試験制度】

1. 内科専門医試験：新制度に基づいて新たに実施
（新制度における内科の1階部分の資格。認定内科医の方が取得希望の場合、受験の必要があります。）
2. 総合内科専門医試験：新しい受験資格にて実施
（内科の2階部分の資格となり、原則、内科指導医の要件となる資格。）

◆内科専門医試験について



◆総合内科専門医試験について



学術講演会開催予定

開催日	会 場
令和 2年 4月 2日 (木) 9月 3日 (木) に延期	ホテルオークラ新潟 4階「コンチネンタル」
4月 18日 (土) 総会 開催検討中です	新潟東映ホテル
5月 21日 (木)	未定
6月 4日 (木)	〃
6月 18日 (木)	〃
7月 2日 (木)	〃
7月 16日 (木)	ホテルオークラ新潟
8月 20日 (木)	未定
9月 3日 (木)	ホテルオークラ新潟
9月 17日 (木)	未定
10月 15日 (木)	〃
11月 19日 (木)	〃
12月 3日 (木)	〃
令和 3年 1月 21日 (木)	〃
2月 18日 (木)	〃
3月 18日 (木)	〃

※予定は変更となる可能性があります。最新情報は新潟市医師会報でご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

にいがた内科医会だより 令和元年度 春号 No. 2

発行日：令和2年3月15日

発 行：新潟市内科医会

〒950-0914

新潟県新潟市中央区紫竹山 3-3-11

新潟市総合保健医療センター5階（新潟市医師会内）

TEL 025-240-4131 FAX 025-240-6760